

日本計量新報

計測と科学

日本計量新報社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

Yamato

業界初の強制検定試験を
推進して作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり

"UD9-1V/1VD"



天和量衡株式会社
電話 03(078)918-8577

今週の主な記事

- ① A&D・東証一部上場、第1WG第5回開催
- ② 計行審第2回基本部会、60A電子式計器も有効期間10年へ
- ③ 05年度第2回計測講座、第2回NMIクラブ会議
- ④ 都計量講習会、都計行総会、千葉計量月行事報告
- ⑤ 全国計量士大会・審議員、計量行政室長講演
- ⑥ 資料・第2WGの方向性(骨子)ほか
- ⑦ あいち座談会、計量計測の美しい流れを訪ねて
- ⑧ 私の履歴書 齊藤勝夫(109)、社説、計量とくちま
- ⑨ 第5回計量士国試験 S・M・T・J 大森健次監査長賞状

A&D、東証一部上場

株式公開から3年、製造業の底力を象徴

新技術開発が原動力

計測機器メーカーの(株)イー・アンド・デイ(東京都豊島区東池袋3-23-14、古川陽社長)は3月1日、東京証券取引所(東証)市場第一部に上場した。2003年4月にジャスダック上場、05年2月に東証第二部に上場しており、株式公開から3年足らずで一部上場を果たした。



古川陽社長

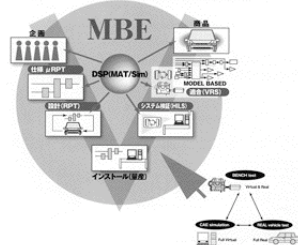
同社は1977年設立で、電子計測器、産業用重量計、電子天びん、医療用電子機器、試験機、その他電子応用機器の研究開発、製造、販売を行う。新技術の開発が同社の原動力ともいえ、50g単位で量れる家庭用体重計や医療機関向けの血圧計や生体情報モニタなど、積極的に新製品をリリースしている。昨秋には産学連携の試みとして、埼玉大学と方ソリンエンジン燃焼の共同研究を始めた。業績も順調に推移しており、連結ベースの売上高は04年3月期で22.8億7000万円、05年3月期で25.4億7000万円。営業利益は04年3月期で18億2800万円、05

年3月期で26億7800万円と増加している。06年3月期第3四半期の業績は、売上高21.2億9200万円(前年同期比16.0%増)、営業利益20億4600万円(同24.9%増)。

次世代計測技術

「MBE」

同社開発の計測・制御技術を担うDSP(高速信号処理技術)がさらに進化をとげ、「MBE」(Model Based Engineering)が登場した。



MBEの概念図

同社開発の計測・制御技術を担うDSP(高速信号処理技術)がさらに進化をとげ、「MBE」(Model Based Engineering)が登場した。MBEは計測・制御・適合を一体化するもの。DSP技術をバーチャル&リアル・シミュレータへ取り入れたことから実現した。センサ、計測、制御、適合の論理は物理モデル、各現象パラメータは完全同期化したデータ、現象観察は五感、検証リアルモデルで学習、といったことが可能な4つのシステムをまとめてMBEと称している。中

心となる技術のうち、実機と仮想モデルの組み合わせにより評価を行い、単体レベルでの実機完成度を上げる「モデルベース」は、トータル開発期間を短縮した。

第1WG第5回会合開く

計量制度検討小委員会第1ワーキンググループ(WG)第5回会合が3月8日午前、経済産業省別館9階第944会議室で開かれた。

2月21日開催の第3回計量制度検討小委員会では10倍速の現象再現・分解や10分の1微分解のパラメータ相互影響解析を可能にし、0.1%以上の精度を実現した。

同社は自動車ツール開発センターを設立し、コア技術の開発、異業種との新技術開拓など、ユーザーと未知なるものを共有し、新しいものを造りつつける、としている。

(社)日本ガス協会の岩田隆技術部長が意見・要望を述べた。都道府県計量行政協議会のアンケート結果を、代表して東京都計量検定所村松徳治指導課長が紹介した。(詳細は次号以下)

20A、60A電子式計器も有効期間10年に

計行審第2回基本部会で方針固まる 22日までパブリックコメント募集

2005(平成17)年度計量行政審議会第2回基本部会が3月6日、経済産業省本館17階第2特別会議室で開かれた。先週行われた第1回部会(本紙3月5日付2621号既報)に引き続き、電子式計器のテストを行

い、その結果を池田義雄同所理事が報告した。試験に使用する計器は、メーカー2社から各5台ずつ提供を受けたものの、20Aは30Aの既存計器を、60Aは試作品を用いて、型式承認の際行われる試験のうち、電流に関する5項目について評価した。試作品の60Aは、影響が考えられる9項目を追加して試験した。参

考資料として、30A、120Aの電子式計器を対象に2001年に実施した、使用して10年経過した計器の使用実態調査データを提示する。

検証の結果、どの試験でも基準に適合しており、計量性能に問題はないとしている。参考データである10年使用後の試験結果についても、13.0%の使用公差内に収ま



佐藤計量器製作所

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112